

浜田川総合開発事業（第二浜田ダム建設、浜田ダム再開発）

浜田ダム再開発工事の進捗状況をお知らせします！

平成26年3月から進めている浜田ダム再開発工事は平成29年5月末現在で、進捗率が59.0%となり、折り返し地点を通過しました。再開発の主な目的は浜田ダムの既設ゲートを撤去して、従来のゲート操作による放流方式から、ゲート操作を必要としない自然放流方式に変更することです。

再開発後は下流に建設した第二浜田ダムと一体となって洪水調節を行います。

再開発工事は既設ダムの改造工事であり、貯水及び下流河川への放流を行いながら工事を進めなければなりません。そのため、本工事ではダム本体左右の放流管の内、一方を工事する場合は、他方は水を流した状態となります。現在は、右岸側の工事をしていますので、左岸側から放流を行っています。

平成28年度施工状況

平成28年度は右岸部の放流管や減勢工^{げんせいこう}*1の改造工事に着手しました。

※1 減勢工…ダムから放流した水の勢いを和らげるためにダム下流部に設置される構造物

右岸放流管改造工事

ダムの貯水池には長い歳月をかけて土砂が貯まりますが、堆砂量が増大するにつれ、土砂や小石を含んだ水が放流されます。土砂を含んだ水が流れると放流管を傷めることとなりますので、放流管内面にステンレス板を張りつけ、放流管の補強をしています。

減勢工改造工事

放流方式の変更により、従来より最大で約1.5倍の流量が流れる設計です。また、ダム下流の河川は左に湾曲していて、最大放流時に流水が越流してしまうため、越流を軽減するために右岸側の既設導流壁を取壊し、高さ18mの導流壁を新たに作っています。



下流からみた浜田ダム



放流管内部の施工状況



減勢工の施工状況

平成29年度は放流管内部からダム上部まで空気管を通すための工事を行います。洪水時の放流では放流管内に高い圧力が発生するため、スムーズに放流するためには空気管が必要となります。この工事ではA-CR（アブソリュート・クラッシング）工法^{※2}という珍しい機械を用いて施工する予定です。

※2 A-CR工法…障害物撤去の際の課題である騒音、振動を著しく抑えた新工法

A-CR工法は今年限り（夏から秋）の施工です。ぜひ現場見学に来てください！

見学先	問合せ先	電話番号
浜田ダム（再開発）	浜田河川総合開発事務所	0855-29-5766

第二浜田ダム周辺環境整備工事の進捗状況をお知らせします！

第二浜田ダム周辺環境整備工事では、ワークショップでご提案頂いた意見を反映し、植栽による修景のほか、来場者のための駐車場や歩道、休憩所の整備を行っています。平成30年1月には一般開放できるよう安全に整備を進めて参ります。

公園の整備状況



ダム周辺に様々な花を植えました



モニュメントの設置



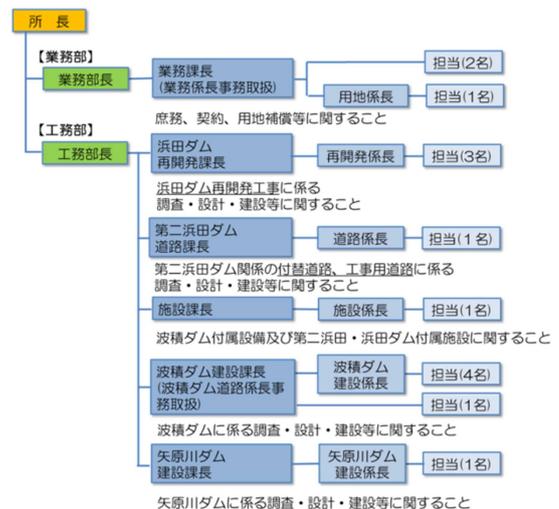
鞍部ダム下流からみた唐谷坂道

唐谷坂道の紹介

第二浜田ダム（鞍部ダム）には、唐谷坂道と呼ばれる中世以来、芸北（広島県北部）と浜田とを結んでいた幹線道があります。この道は石をきれいに配置した石畳造の道です。特徴は石畳の両縁がまっすぐ揃えられ、雨が降ると自然に両脇に水がまとまって流れ、歩く石の面にはあまり流れないようになっています。石の組み方をよくみると石畳が斜めに幅30cmで途切れた場所があり、斜めに水を流す工夫もされています。浜田川総合開発事業で建設する鞍部ダムにより、この道が分断されることから、一部の付替えを行いました。

平成29年度職員紹介

当事務所は、29名体制（平成29年度）で業務をしており、浜田川総合開発事業（第二浜田ダム、浜田ダム）のほかにも、波積ダム、矢原川ダムの建設に向け取り組んでいます。今年度もよろしくお願ひします。



お問い合わせ先

安心して暮らせる地域のために！ 島根県浜田河川総合開発事務所

〒697-0041 島根県浜田市片庭町254 島根県浜田合同庁舎5F

TEL 0855-29-5760 FAX 0855-29-5772

<http://www.pref.shimane.lg.jp/hamadakasen/>

メールアドレス：hamadakasen@pref.shimane.lg.jp